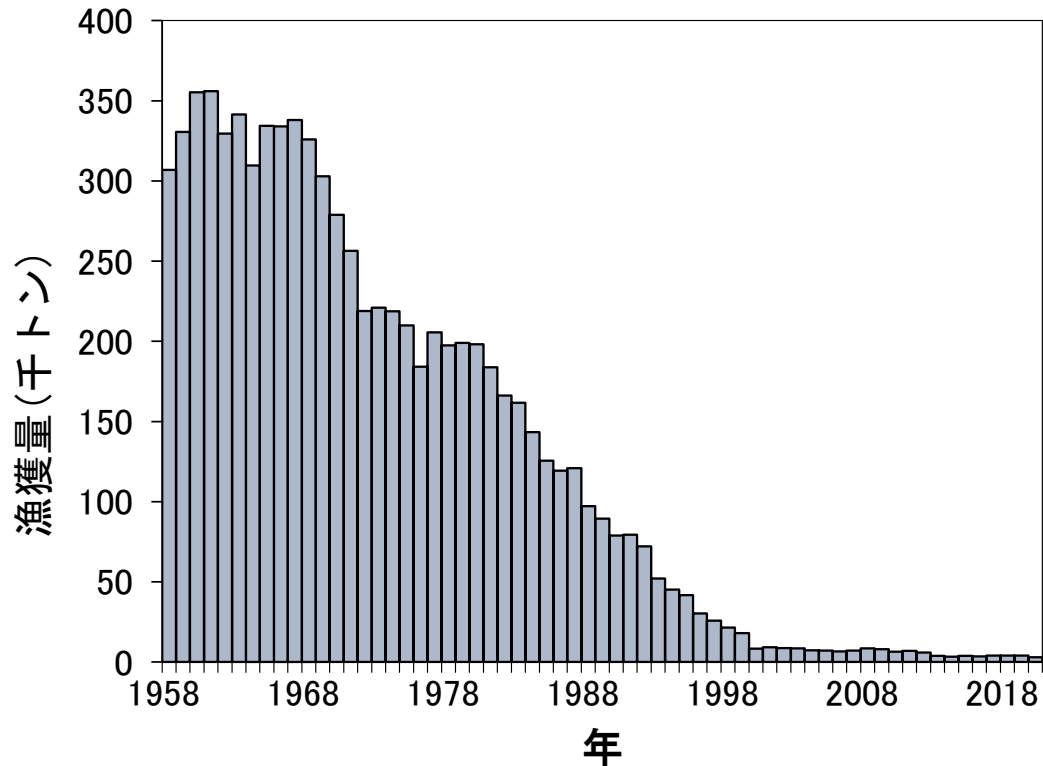




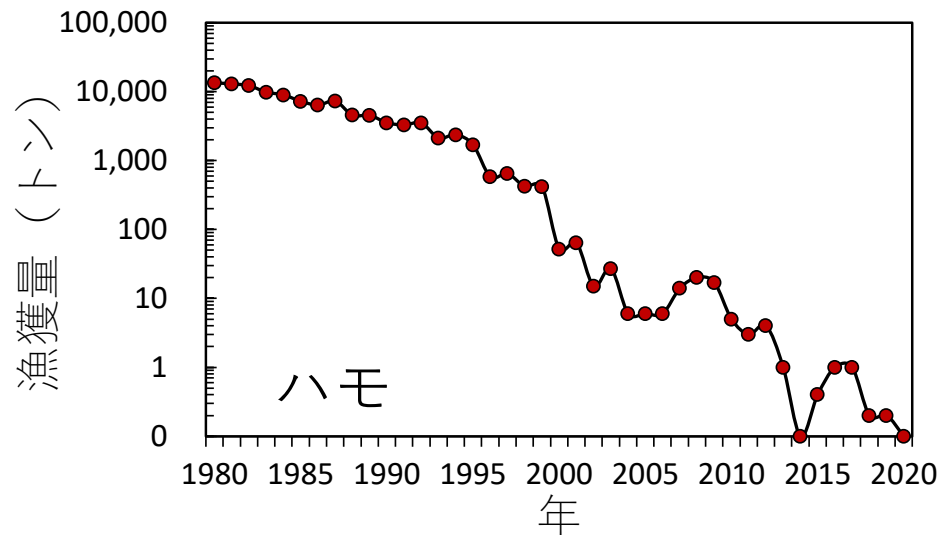
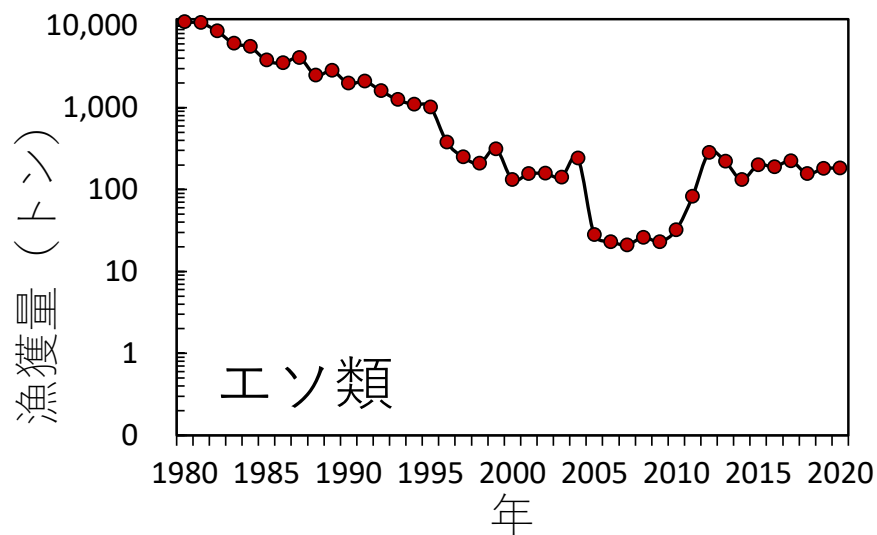
# 東シナ海底魚類 令和3年度資源評価結果

# 漁獲の動向①



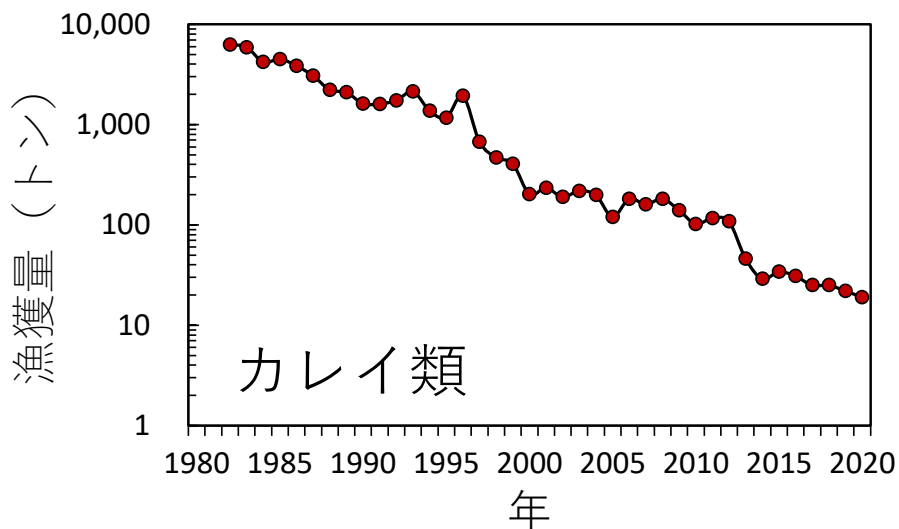
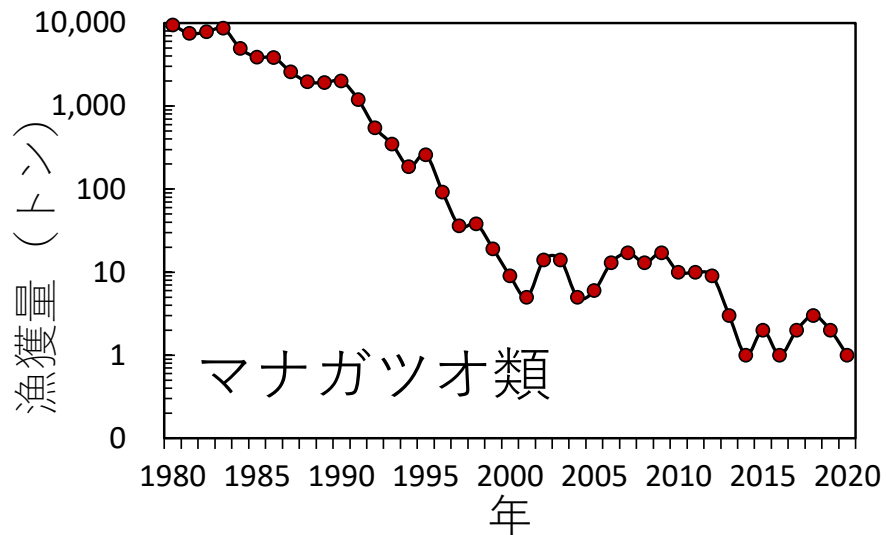
- 以西底びき網漁業の全漁獲量 1960年代は30万トン台で推移していたが以降は減少に転じる
- 2020年の以西底びき網漁業の全漁獲量はおよそ3.2千トン

# 漁獲の動向②



- 2020年はエソ類（マエソ、ワニエソ、クロエソ、トカゲエソ）：183トン、ハモ：0トン

# 漁獲の動向③



- 2020年はマナガツオ類（マナガツオ、コウライマナガツオ）：1トン、カレイ類（メイタガレイ、ナガレメイタガレイ、ムシガレイ）：19トン

# 資源評価の流れ

- ・ 生物測定
  - ・ 成長・成熟
- ・ 以西底びき網基本統計
- ・ 資源量調査
  - ・ 着底トロールによる分布生態調査

MARSSモデルによる  
資源量指数の推定※

(参考)  
中国・韓国漁獲量

水準・動向の判断

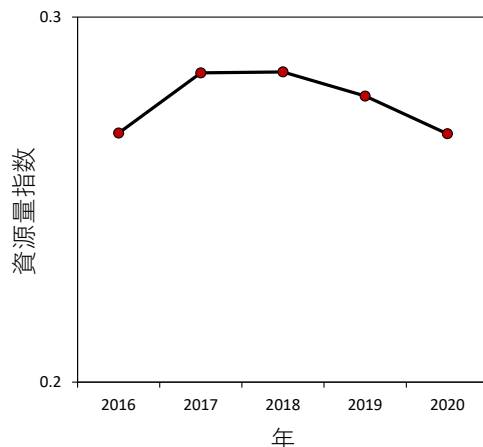
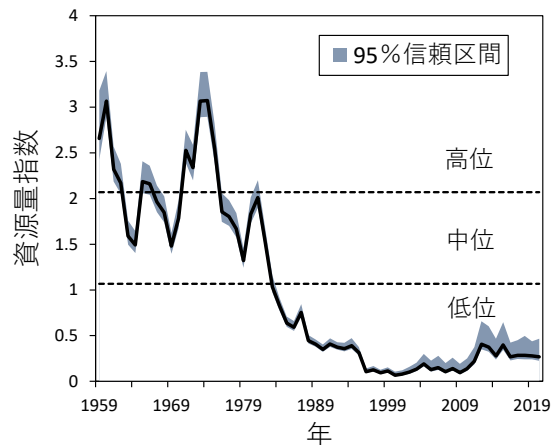
漁業資源評価

- ・ 適切な漁獲水準
- ・ その他管理方策の提言

※MARSSモデル（多変量自己回帰状態空間モデル）：  
時系列的解析手法を応用して欠損値の補間・推定を行うモデルの一つ。

本モデルを使うことにより、以西底びき網漁業の操業海域の大幅な縮小によって漁業データが得られなくなった海域についても適切に補間し、資源量指数の推定が可能となる。

# 資源の動向①

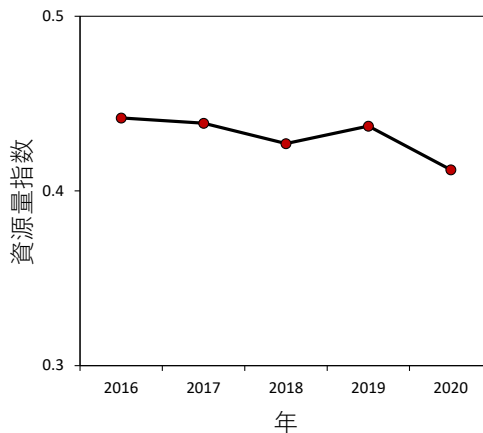
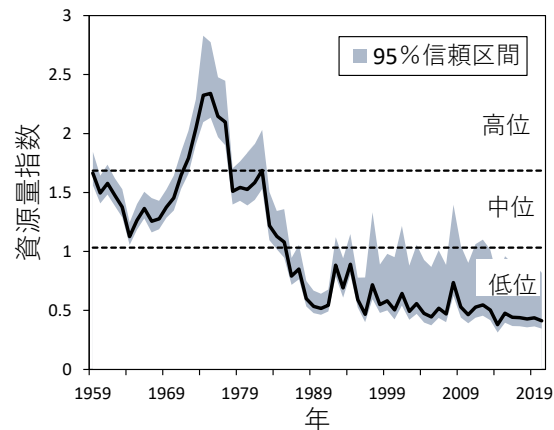


※水準区分

エソ類：

低位/中位 資源量指数 1.07

中位/高位 資源量指数 2.07



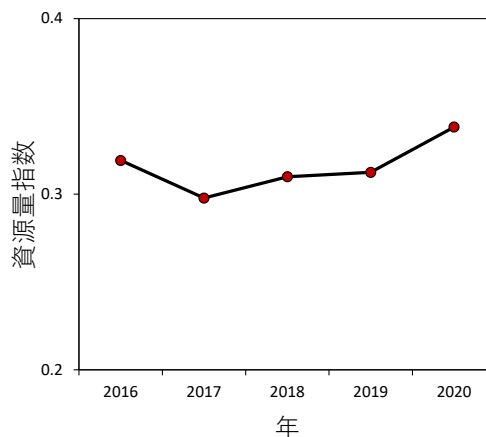
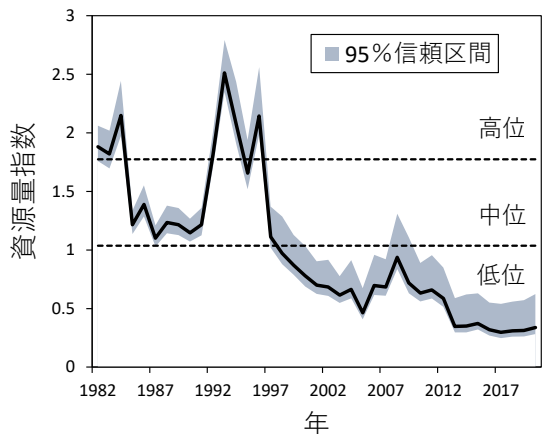
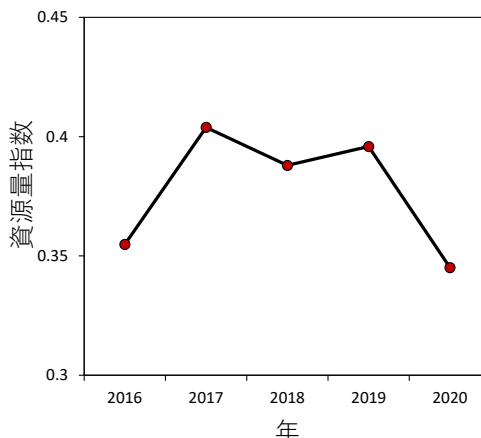
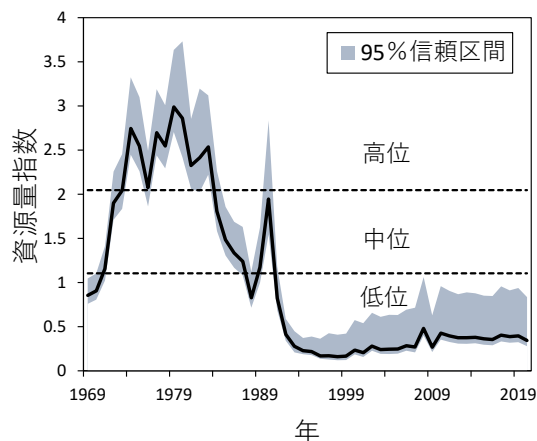
ハモ：

低位/中位 資源量指数 1.03

中位/高位 資源量指数 1.69

- 資源水準：エソ類（左上）、ハモ（左下）、いずれも「低位」
- 資源動向：直近5年の資源量指数の推移からエソ類（右上）、ハモ（右下）、いずれも「横ばい」

# 資源の動向②



※水準区分

マナガツオ類：

低位/中位 資源量指数 1.10

中位/高位 資源量指数 2.05

カレイ類：

低位/中位 資源量指数 1.04

中位/高位 資源量指数 1.77

- 資源水準：マナガツオ類（左上）、カレイ類（左下）、いずれも「低位」

- 資源動向：直近5年の資源量指数の推移から、マナガツオ類（右上）、カレイ類（右下）、いずれも「横ばい」

# 資源評価のまとめ

- 資源の動向および水準は
  - ・ エソ類                    低位   横ばい
  - ・ ハモ                      低位   横ばい
  - ・ マナガツオ類          低位   横ばい
  - ・ カレイ類                低位   横ばい